

平成25年度 木と暮らしのふれあい展

十月五日（土）・六日（日）の両日、「第33回木と暮らしのふれあい展」（主催東京都・一般社団法人東京都木材団体連合会）が木場公園で開催され、東京事務所が出展し国有林のPRに努めました。

この催しは「森を育てたい。だから木を使おう。」をメインテーマに、都民に木とふれあえる機会を提供し、暮らしの中での木材利用を推進することを目的としています。

当日は、東京都の各木材団体等が一堂に会し、木工教室等の木とふれあう体験や木製品の展示販売、木造住宅相談、特産物の販売、アトラクション等が行われました。

一日目は台風の影響で終日強い雨にたたられました。二日目は天気が回復し、来場者が待ちかねたようにどっと押し寄せ、大変な賑わいを見せました。

東京事務所では、小枝のモックン、木の実のリース等の森林クラフト体験を行うとともに、富士山の世界文化遺産登録について、クイズの出題や静岡県から提供頂いたパンフレットを配布してPRを行いました。

関東森林管理局東京事務所



開会式(宮原林野庁次長祝辞)



関東森林管理局東京事務所テント



森林クラフト体験



世界文化遺産富士山のパンフレット配布